

# あなたのまちの協議体

①目指す地域像②メンバー数（SCを除く）③話し合いの内容

## 第1層協議体

- ①みんなで支えあい 笑顔あふれる 本庄市
- ②16名
- ③市全域の取り組みについて話し合いをしています。今年度はモデル事業として住民の移動支援について取り組んでいます。

## 第2層協議体

### 希望とどけ隊（本庄東中学校区）



- ①いくつになっても現役で活動できる街 東
- ②7名
- ③地域でできる住民同士の移送支援について話し合っています。専門家を招いての勉強会や市外への視察などから情報交換を行っています。

### 南でもサポートチーム（本庄南中学校区）



- ①転入大歓迎！だから目指します。～中高年が幸せに暮らせるこの町は若い貴方も幸せです～
- ②6名
- ③第1層協議体と移動支援に取り組む他に、住民の困りごと解決や支え合いの仕組みを広げる方法について話し合っています。

### 西愛ネットワーク（本庄西中学校区）



- ①ガミガミいうより笑顔の話し合い  
～わりいんね・なに言ってるん・お互いさま～
- ②6名
- ③住民主体のごみ出し支援の実施に向けて話し合いを重ね、チラシの作成、料金体制について検討しています。

### ささえ愛チームこだま（児玉中学校区）



- ①目くばり気くばり心くばりが出来る町 こだま
- ②6名
- ③移動販売についての調査や、住民目線で作る地域の便利ガイドの作成のために話し合いを重ねています。

## 第2層協議体発足から1年

# 住民同士が支え合える地域づくりを目指して



★介護保険課 ☎ 25- 1 7 2 2

住み慣れた本庄でいつまでも暮らすために

2025年に、本庄市の人口で65歳以上の方が占める割合（高齢化率）は3割を超える予想されています。

高齢化が進む中で、「介護や支援が必要になっても、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けたい」という希望を実現するために、住民主体で地域が活動しています。

協議体Ⅱ地域について考える場

協議体とは、地域の支え合い活動について考える場のことです。市全域の課題について取り組む第1層協議体に続き、地域の暮らしに近い日常生活圏である、中学校通学区を単位とした第2層協議体が平成30年7月に発足しました。協議体は、生活支援コーディネーターを中心に自治会長や民生委員・児童委員、地域のボランティアなどで構成されています。

地域との架け橋、生活支援コーディネーター

協議体の活動で欠かせないのが生活支援コーディネーター（以下SC）です。SCは地域支え合い推進員とも呼ばれ、地域と協議体をつなぎ、意見をまとめたり、アドバイスすることで、協議体をサポートしています。

有意義な話し合いのために

協議体の雰囲気について「地域の課題を話し合う場だけど、



左から第2層協議体SCの村田亘さん、群馬正敏さん、笛田大介さん、新井暁光さん

堅苦しくなく、井戸端会議のような和気あいあいとしている」と新井暁光さん。また、笛田大介さんは「偏りが無いようにメンバーそれぞれに意見を聞いた後、話し合いの内容がうまくまとまるように気をつけている」と話します。話し合いを円滑に進めるのもSCの役割です。

地域を思う気持ちがつくる熱心な意見交換

第2層協議体発足当初は年間3〜4回の集まりを予定していましたが、各協議体とも予定を超える回数の話し合いを行っています。

「協議体の場以外にも、メンバーが自発的に集まり、話し合いをしている」と話すのは群馬正敏さん。また、村田亘さんが担当する協議体では、メンバーが勉強のために市外から講師を呼び講演会を行いました。どの協議体でも、地域のためにメンバーの熱心な意見交換が行われています。

協議体についてもっと知りたい方へ

### 住民同士の支え合い地域づくりフォーラム

日時 10月30日(水) 午後1時30分〜3時30分(受付 午後1時〜)

会場 本庄市民文化会館ホール

講師 酒井 保 氏（ご近所福祉クリエイター）

第1部 基調講演

第2部 第2層協議体活動報告

定員 350名（先着順）

費用 無料

用意 筆記用具

申込 9月9日(月)から10月18日(金)までに氏名、住所、連絡先、手話通訳の要否を明記のうえ、ファックス、本庄市社会福祉協議会のホームページ又は電話で左記へ



ホームページ

★本庄市社会福祉協議会 ☎ 24-2755、☎ 21-5516